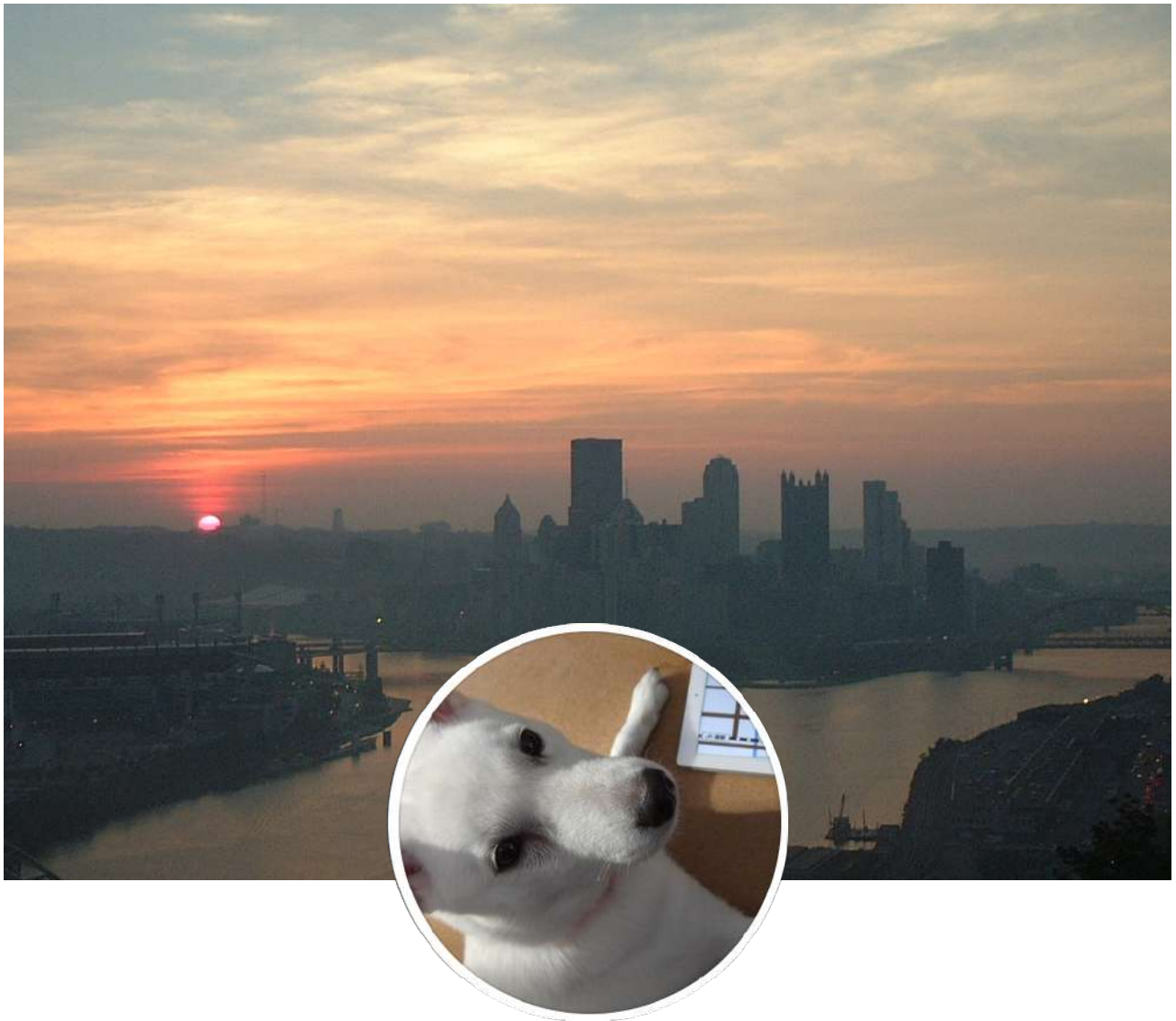




Tadashi Kitahara

2024年 Facebook投稿記事

<https://www.facebook.com/tadashi.kitahara.56>

2024/01/01



2024年元旦
今年もよろしくお願いします。

2024/01/06



つい先日たまたま民放で「約ネバ」やってまして。原作のことはまったく知りませんが実写のキャスティングに北川景子さんと浜辺美波さん。内容が入ってこないくらい「社会的眼福」を感じる作品です。～個人的感想～

2024/01/07



久し振りに千里中央の千里庵。
蕎麦屋ですが野菜たっぷりの千里庵ちゃんぽんはこのオススメ。

2024/01/10



敵火会同窓会の将来を真剣に考える会
@まつ丸。

2024/01/12



Wikipedia内を検索

柴犬まる

ページ ノート

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

柴犬まる（しばゆまる。2007年10月20日 - 2024年1月8日^[1]）は、**岐阜県**出身の**柴犬**^[2]。Instagram^[3]のフォロワー数は250万人を超える。

来歴 編集

2007年10月20日、**岐阜県**に生まれる。飼い主となる小野夫妻が近所のショッピングモールにあるペットショップで出会い、同年のクリスマスライブに家族として迎え入れる。

名前の由来は、頭に思い浮かんだ「まる」という言葉尻が好きで、みんなに優しく、角のない性格になるようにと暮がつけた。

2011年、東北地方太平洋沖地震の際、SNSに不安をおおる書き込みや悲しい気持ちになる内容が多いことを憂慮した飼い主が、飼い犬の写真ならどのような反応があるかを確かめようと、写真のアップを開始した^[4]。

2014年、Instagramのフォロワー数が80万人を超え^[5]、同年6月には初の写真集『柴犬まる』がメディアファクトリーより刊行される。

2015年、Instagramのフォロワー数が200万人を超え、多くの芸能人をおしの対国内5位^[6]。同年11月にはその発信力から三益愛の親光大使に就任した（任期3年）^{[7][8][9]}。郵政省で犬としての親光大使は国内初。

2016年4月、タイム（雑誌）によって、最も影響のある動物100に選出される^[9]。まるの影響力の大きさ^[10]と人気から「スター」^[5]、「巨星」「ベスト・ドッグ^[11]」「世界一有名な柴犬^[12]」と国内外で呼ばれた^{[13][14][15]}。

2024年1月8日、16年81日の生涯を終える。翌1月9日、公式ブログ及び各SNSにて報告された。

まる

2014年9月撮影

生種	イヌ
犬種	柴犬
生誕	2007年10月20日
死因	● 日本
死没	2024年1月8日
国籍	● 日本
飼い主	小野真二郎
体重	18kg
体高	52cm
備考	

柴犬「まる」。小野真二郎さんが東北で被災された方々を少しでも癒やそうと「まる」と共に10年以上にわたりメディア活動されてきました。最近は年齢のこともありメディアから引退されたので今年初めて週めくりカレンダーを購入してみました。今週1月8日月曜日「まる」はお空組に進級したそうです。多くの方が癒やされてきたのだらうと思います。「まる」ありがとう。

2024/01/14



昨日は京都で側頭骨手術にこだわる先生方のお集まりにお呼びいただきました。会場は京都タワー。

2000年から始まり今年で24回目の開催とのこと。めまいの手術で言えることは定型手術になることが多いので手技を磨くことは重要なのですが術後時折不安に陥る患者さんに寄り添うfollowがさらに重要です

2024/01/19



約8ヶ月ぶり。大将のだし巻きに当たるのは運否天賦。

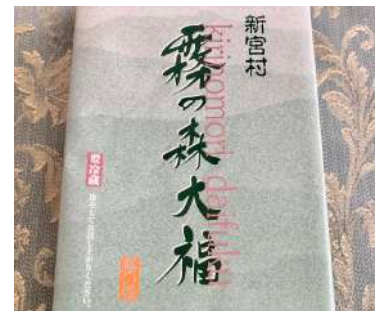
今年は良い年になりそうです。

2024/01/28



今日は所用で奈良ホテルへ。
見事な快晴からの。帰りに雨降るとは思いませんでした。

2024/02/02



ひさしぶりの愛媛松山。
道後温泉、大街道、霧の森大福ゲット。

2024/02/06



こんな日になぜか駒込。

生成AIのお話を勉強して参りました。

論文作成と査読対応にどう利用すべきか。

日本医学連合会長のご挨拶から始まりましたが、もう門田守人先生ではないのですね・・・。

2024/02/18



めまい業界における漢方薬の可能性について。昨日は新潟の堀井先生のところに行ってきました。

2024/02/24



コロナ前、2019年以来、5年振りに観て来ました。
礼子様、紀香様、彩芽様によるキャッツアイ@明治座。

2024/02/26





めまいで困っていませんか？

医療健康フォーラム

日時 2024年3月3日(日) 開場 12:30~ 開演 13:00 (終了予定 15:00)

会場 まつもと市民芸術館 主ホール

「耳のしくみとバランス調整」

信州大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室 教授：工 穰 先生 

「めまいの検査とめまいの種類」

信州大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室 講師：塚田 景大 先生 

特別講演

**「原因不明のめまいは怖くない
～めまいの克服にむけて～」**

長野県伊那市出身
奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 教授
北原 紘 先生 

パネルディスカッション

司会：信濃毎日新聞社特別編集委員：飯島 裕一

■主催：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会長野県地方分会、信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室

■共催：信耳会、信濃毎日新聞社 ■後援：松本市医師会、長野市医師会

参加費無料 事前申し込みが必要です

申し込み方法： 住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、参加者数を明記し、下記のいずれかでお申し込みください。
後日、聴講券を郵送いたします。また、質問等がある場合は、あわせてご記入ください。

WEB の場合： 専用の申し込みフォームから入力・送信してください。▶ 右のQRコードからアクセスできます。

はがきの場合： 〒390-8585 長野県松本市中央 2-20-2 信毎メディアガーデン
信濃毎日新聞社松本本社営業部内 医療健康フォーラム係

FAX の場合： 0263-32-5580 まで

申し込み締切：2月21日(水) 必着。*定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。



お問い合わせ／信濃毎日新聞社松本本社営業部内 医療健康フォーラム係 ☎0263-32-2860

(月～金 9:00～17:00)
*年末年始および休日をのぞく

いよいよ1週間を切りました『耳の日講演』in まつもと。信州大学の工先生の多方面への強力な働きかけにより600名以上の県民市民の方々にお集まりいただけるそうです。事前のご質問も多数お寄せいただいているとのこと。いつになく緊張します。

2024/03/03



3月に入りました。

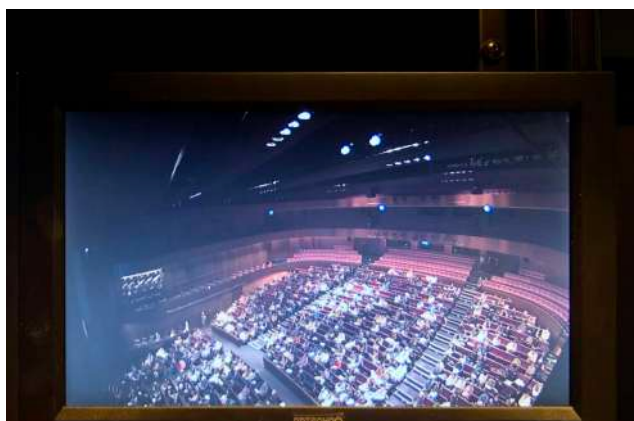
3月1日金曜は熊本大学医学部で学生講義。今年は日帰りなので折田先生とは飲めず残念。

2024/03/03



3月2日土曜。
まうは補習授業。
補習に来たことを大声でアピールしている。
補習の意味があまりわかってない様子。

2024/03/03



3月3日日曜は松本で『耳の日医療健康フォーラム』。働き方改革の中、日曜日の市民講座開催にご尽力いただいた工先生、医局員、言語聴覚士の皆様に厚く御礼申し上げます。参加者500名、ご質問100件は凄すぎる。

2024/03/10



年度末、学会や委員会のWEB会議が立て込みます。ようやく寝ようとしたが先に私のベッドのど真ん中で寝ている白い方がおられます。結構深い眠りのようで動かすのは容易ではありません。

2024/03/24



いよいよ3月23日土曜から延伸開業となりました。明日からの出勤に影響あるのかはわかりません@千里中央駅。

2024/03/31



3月はお別れの季節。

10年にわたりお世話になったトレーナーさんが本日で退職されます。まうがここまで更生できたのは彼女のおかげです。今後の益々のご発展を祈念しております。

まうは相も変わらず、明日も元気に登校します。

2024/04/02



宮崎の先生、東海の先生のお陰で訪中にビザが要る事を知りました。最短5日で発行されるようなので助かりました。

2024/04/06



大阪めまい研究会開催のあと、2022年3月ご退任の武田憲昭師匠のパーティを、コロナ明け2年遅れで執り行いました。22年間のお勤めご苦労様でした。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

2024/04/07



今年も恒例の定点観測。千里中央マンション前の桜。
年齢とともに笑うことも少なくなりましたが、この時期ここに来ると笑顔になるまうです。

2024/04/09



毎春楽しみにしている高田千本桜ですが、今年はタイミング合わず。
先週火曜は三分咲き程度でしたので本日に期待しましたが、昨晚からの強い雨風で残念な感じになりました。

2024/04/19



日耳鼻を盛り上げる会@品川

2024/04/25

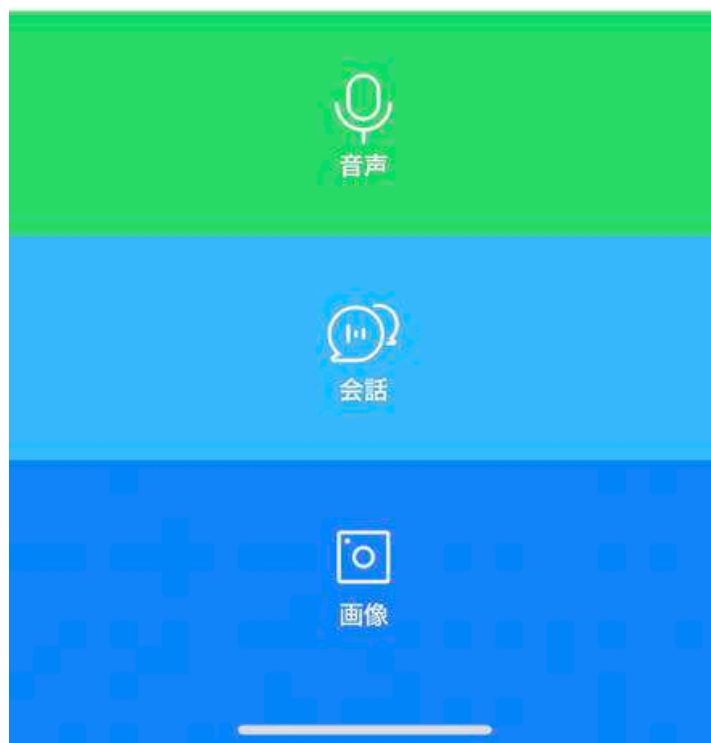


昨晚は久しぶりの心斎橋。
最後の晚餐にピッタリなお食事かも知れません。無事帰国したいと思っはいますが。

2024/04/27



翻訳する内容を入力してください



無事、上海に着いております。パパゴという会話や写真から即時翻訳してくれるソフトを教えてもらいましたが、英語圏以外、とくにアジアではとても助かります。ホテルの部屋に置いてあるお知らせの写真を撮ると、即時画面上に翻訳されます。

2024/04/30



以前お寿司屋さんだったお店をリノベーションした、大東市野崎のお酒とおうちごはん『くず』。
美味しくてコスパも良く、センスの良いお話をされる女将のお店。

2024/05/05



太陽の塔の見える丘公園。公園までの往復はカートでの移動ですが。まだまだ元気です。

2024/05/11



恩師ご夫妻が妻の誕生日をお祝いしてくださいました。恩師は喜寿ですし母の日も近いですし。何かとおめでたい日です。

2024/05/12



本日、吹田は雨っぽいですね。久しぶりに吹田キャンパス内。もう30年経ちますから建て替えて
しょうか。

2024/05/16



今晚は恒例の日耳鼻平四会。朝子先生に良いお店を選定していただきました。とてもリラックスできる素敵な会ですので今後も長く続けたいですね。

2024/05/25



本日まうは月一の定期検査。
さっき外でこけて鼻の頭を擦りむきました。少し落ち込んでます。

2024/06/02



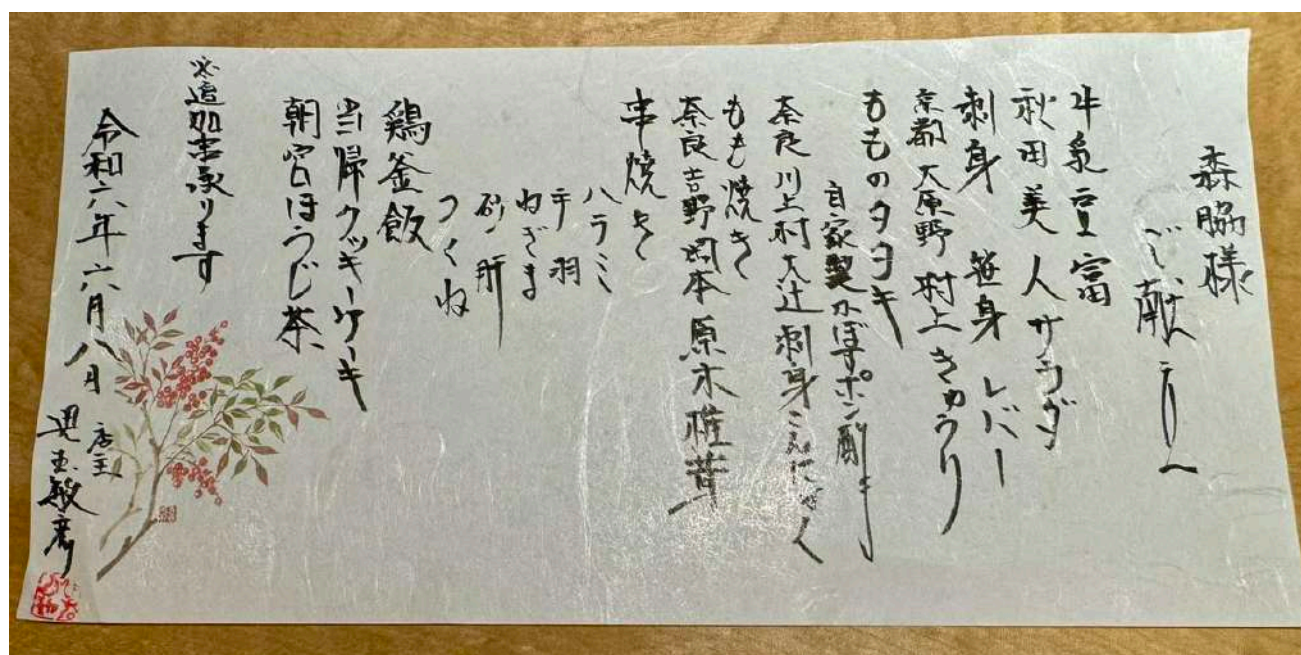
老健施設訪問のあと近くの京都離宮へ。
そこには周囲の雰囲気とかけ離れた京都がありました。

2024/06/02



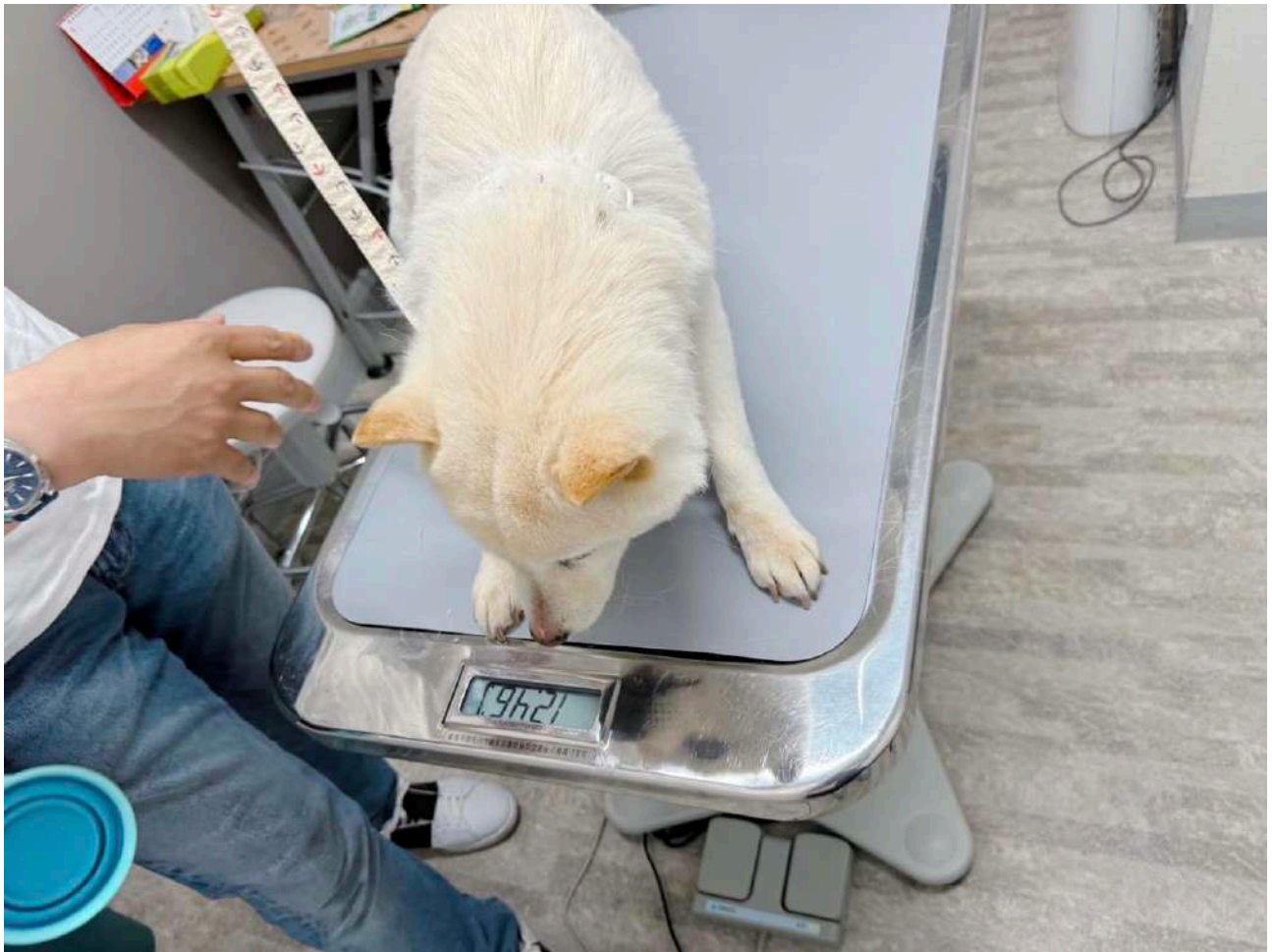
甥っ子がホームステイのためオーストラリアに出発。
湊川神社までお見送り。

2024/06/08



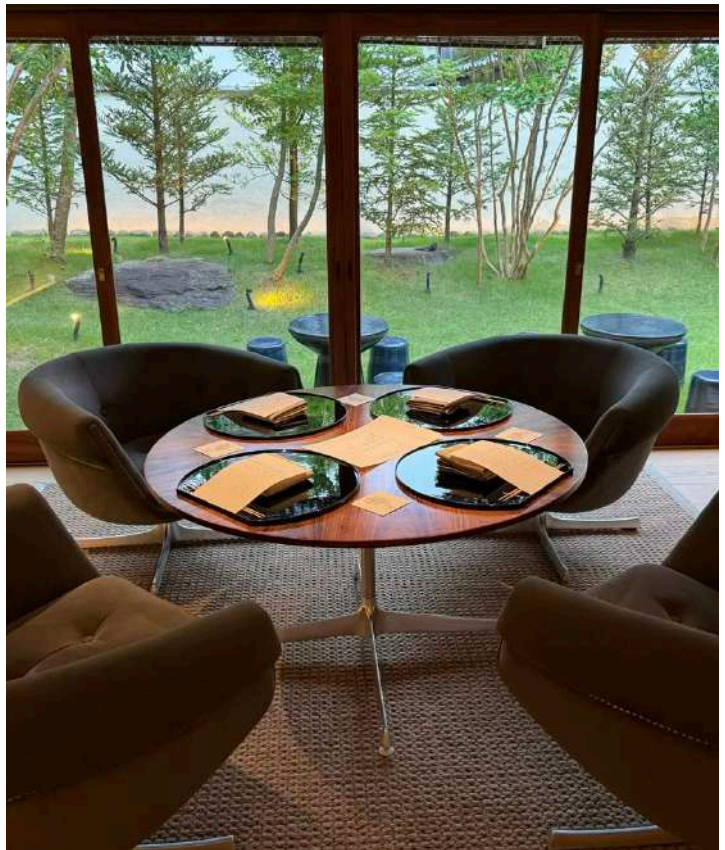
平成四年の同期会@北新地ひないや。
都合により2名お休みですがみんな元気。満腹になりました。

2024/06/15



本日はまうの定期検診。概ね元気ですが腎臓に加えて甲状腺をケアしないといけません。週明けが誕生日ですが何とか13歳にはなれそうです。

2024/06/15



耳鼻科の臨床学会が今月末に福井で開催されますが、来年はいよいよ奈良に順番が回って来ますので、幹事の先生方とお打ち合わせ@翠門亭。素敵なところでした。

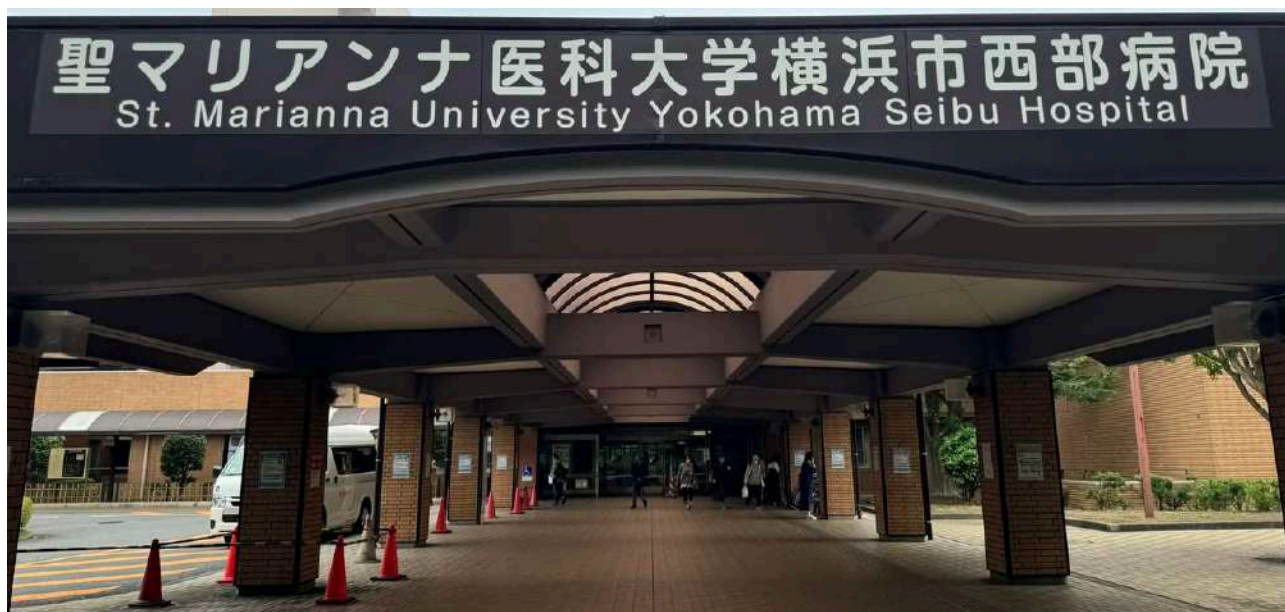
2024/06/18



海道白老からやって来た北海道犬まうは、昨日めでたく13歳の誕生日を元気に迎えることができました

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024/06/20



本日は聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院で医師講習会。めまいセンター見学、メニエール病講義を経て、夜は瀬尾先生を囲む会。

2024/06/26



本日はOCATから電車とバスで近大狭山へ。学生講義です。昨年もそうでしたが熱心な質問が多い印象です。
来年いよいよ移転ですね。

2024/06/30



耳鼻臨床@福井では女性真打ち・立川小春志さんの演目の司会をさせていただきました。日頃の学術座長とは勝手が違いましたが勉強になりました。

立川談春さんに弟子入り、すなわち談志さんの孫弟子ということになります。

落語家は全国に約1000人、女性落語家は50人前後なので約5%。

女性医師が約20%であることから考えても極端な男性社会。やはりいろいろとあるようです。蝶花楼桃花さん、桂二葉さんとも仲良しとのこと。

2024/07/04



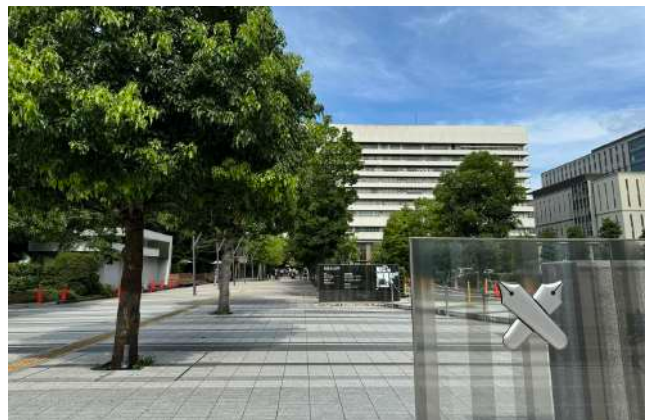
山梨にお呼びいただきました。山梨入りは初めてかも知れません。お互いの大学の境遇に多くの共通点があり、大変参考になる研究会でした。山梨のワイナリー、素晴らしいです。

2024/07/11



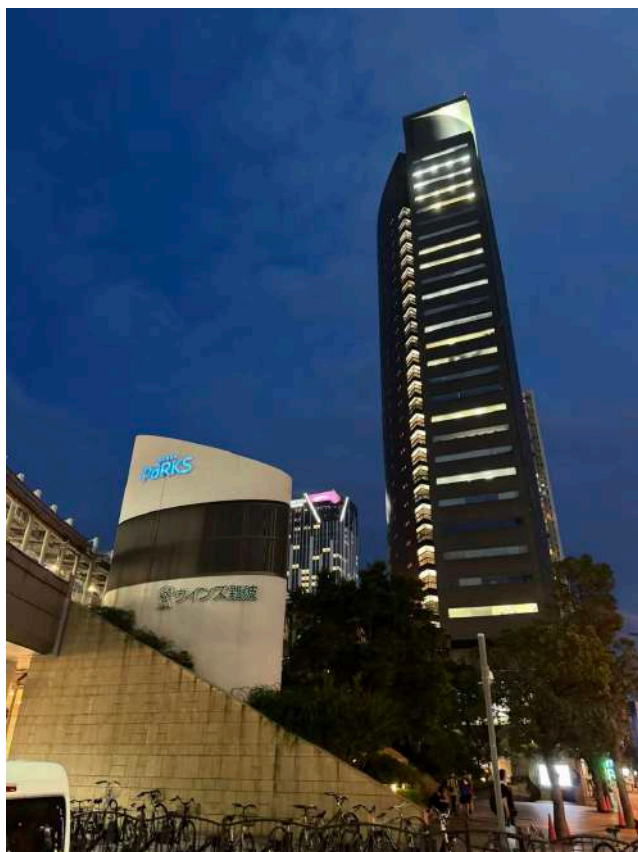
日本小児耳鼻咽喉科学会が三重大学主催で宇治山田にて開催されています。
宇治山田は澤村榮治さん推しのようです。

2024/07/13



本日は慶應大学医学部附属病院で研究会。耳鳴難聴と軟骨伝導の同日、奈良医大担当開催です。
四谷に泊まって四谷三丁目を曲がって直進すると慶應。
東京四谷にホテル京阪があるのですね。

2024/07/24



今晚は解剖実習、各科ポリクリ、国試対策などをともに乗り切った仲間で、なんばパークスに集まりました。2017年3月から半年毎の開催でしたが、新型コロナの4年間はお休み。2年に一度、平成四年卒全体の同期会がありますが、研究会と重なることが多く、この会の存在はありがたいですね。

2024/07/27



本日こちらで研究会です。名前がまた変わりました。

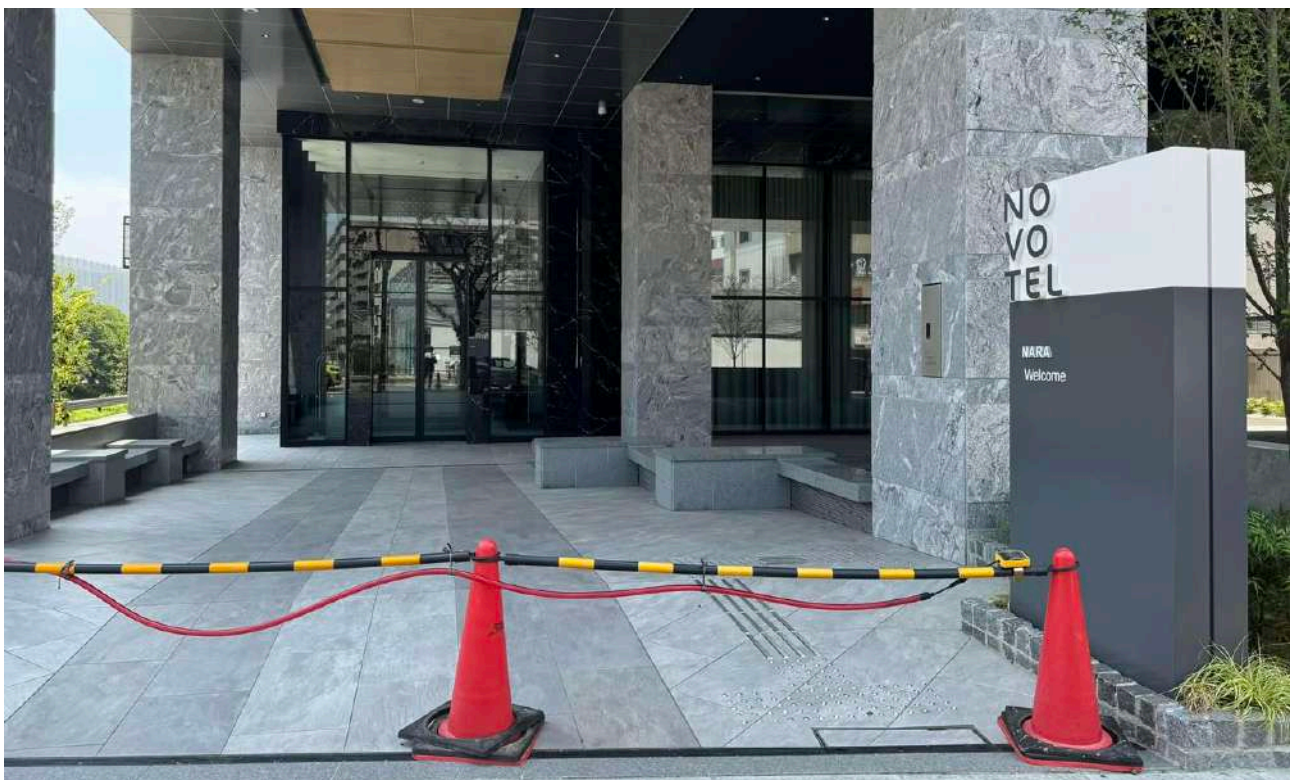
橿原ロイヤルホテルからTHE KASHIHARA、そして現在はグランドメルキュール奈良橿原に。陛下が泊まれるお部屋のメンテはしっかり引き継がれているのか心配です。

2024/08/01



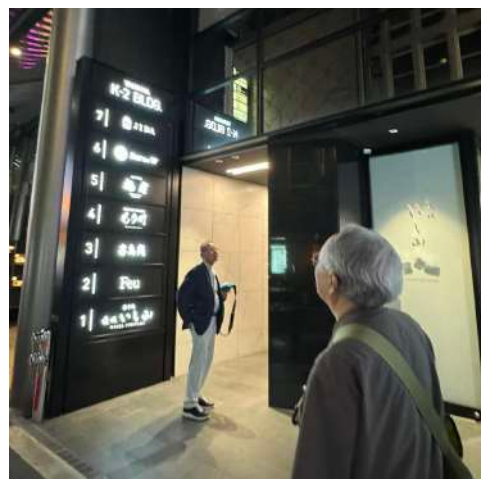
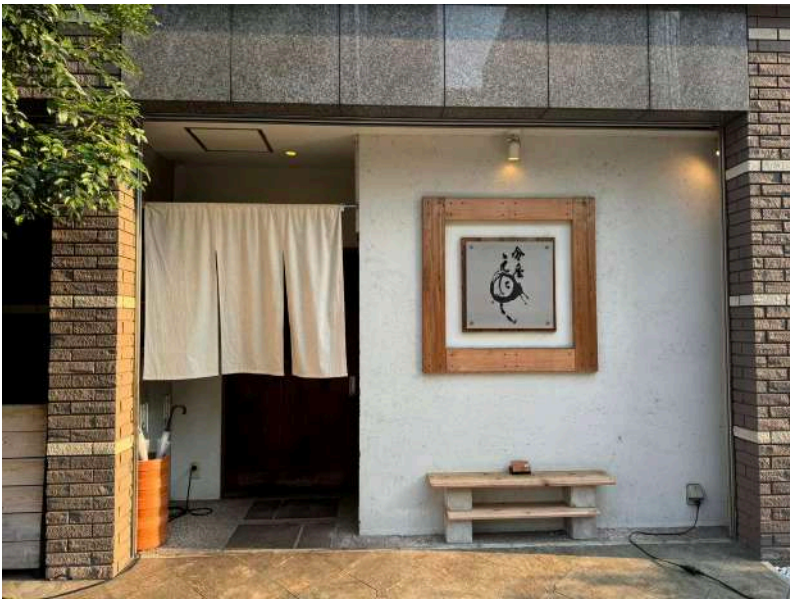
久しぶりの心斎橋。だし巻き卵に当たること自体が稀なのに、う巻きに当たる快挙。しかも、とても知ってるご夫妻がお隣という奇遇と重なりました。

2024/08/03



とあるおめでたい理由でJWマリオットホテル奈良に来ています。お隣にノボテルが開業間近。学会を主催するには大変ありがたいことです。

2024/08/04



昨晩は約1年ぶりの東天満。からの北新地。
大御所のお二人と楽しいひと時でした。

2024/08/09



まうが家に来てから無事13年が過ぎました。元気に過ごしています。

トレーナーのまい子先生に北海道犬は難しいと言われていたにもかかわらず、白い和犬が良いという好みを貫き通したため、結局はまい子先生のお世話になるという体たらくです。

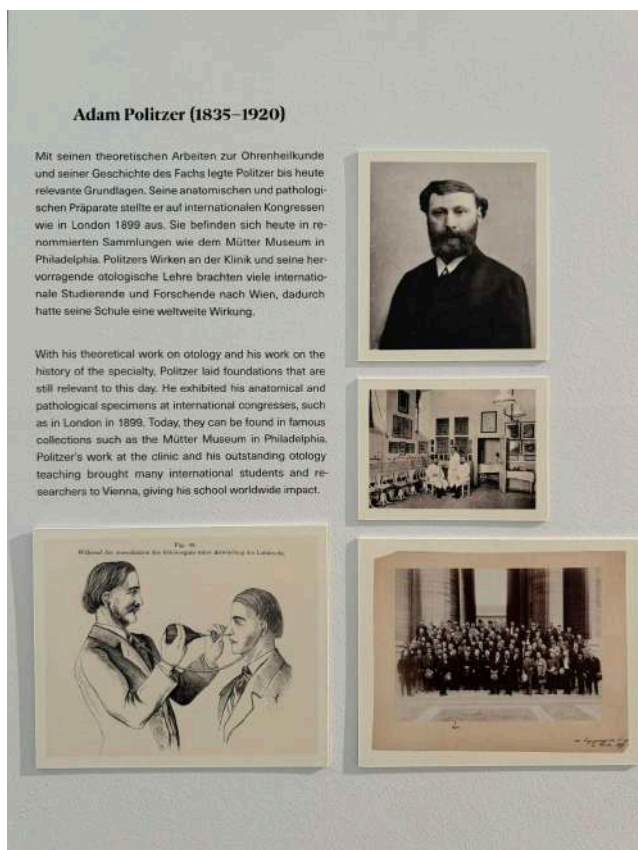
3ヶ月のときはほぼ遊び相手、13歳の今は介護に近いかも知れませんが。ヒール、サイド、スピン、ターン、サイドステップ、バック、アラウンド、スラローム等々。いろいろ教わりました。

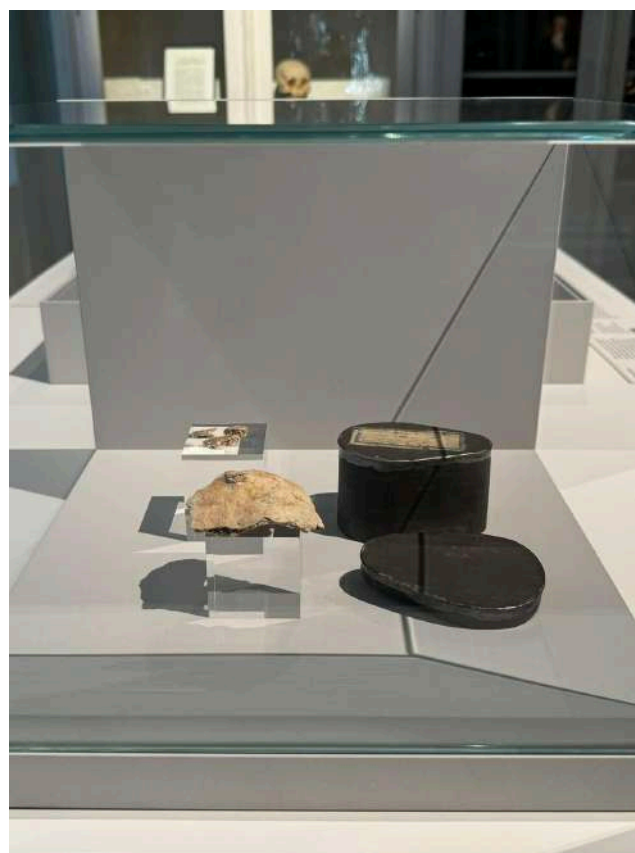
2024/08/11

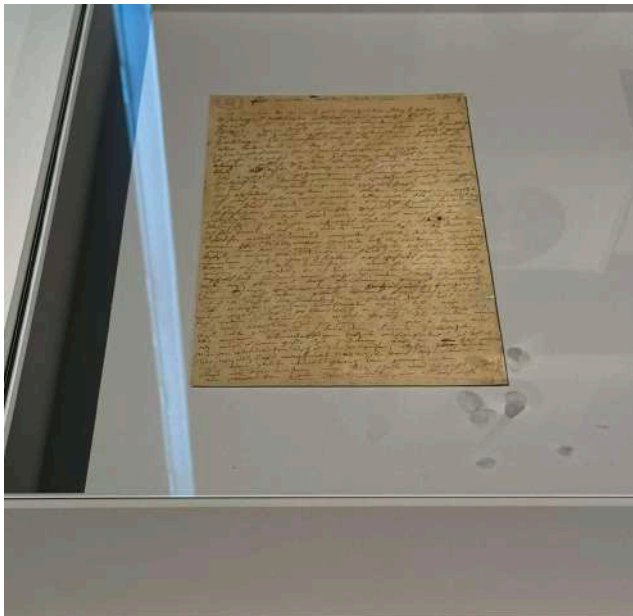


京セラドーム。
初回から良い感じです。

2024/08/29





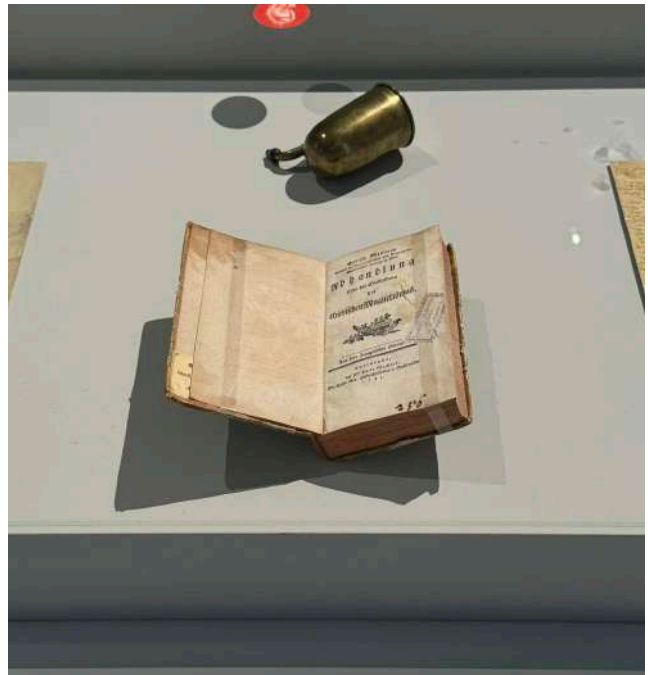


Heiligenstädter Testament
Ludwig van Beethoven
Heiligenstadt bei Wien,
Oktober 1802
Faksimile
Heiligenstädter Testament
1802

1802 besuchte Beethoven die Badewasserstadt in Heiligenstadt. Das Bad in der mineralhaltigen Quelle sollte, laut seinem Arzt Johann Adam Schmidt, seine Verdauungsstörungen und sein Gehörleiden lindern. Verzweifelt schrieb Beethoven an seine Brüder und bat um Verständnis für seine häufige Misanthropie. Beethoven schickte das Testament nicht ab. Es tauchte erst in seinem Nachlass auf.

Heiligenstädter Testament
Ludwig van Beethoven
Heiligenstadt near Vienna,
October 6, 1802
Faksimile
Heiligenstädter Testament
read:

In 1802, Beethoven visited the Heiligenstadt. According to his Johann Adam Schmidt, the be mineral-rich spring was supposed to his digestive disorders, hearing problem. Desperate, he wrote to his brothers asking for their frequent misanthropy. I did not send the will, it was left estate.



Abhandlung über die Entdeckung des tierischen Magnetismus
Franz Anton Mesmer
(1734-1815)
1781

Der Arzt Franz Anton Mesmer, dessen Name bis heute in den englischen Wörtern „to mesmerize“ and „mesmerism“ forlitten, begann 1774 damit, seine an der Wiener Oberschicht angehörigen Patienten mit magnetischen Kurven zu behandeln. Er stützte sich dabei auf seine Theorie des „tierischen Magnetismus“. Die Technik der „Mesmerischen Stiche“, Berührungen mit Magneten auf der Haut, verbreitete sich weit über Wien hinaus.

Mesmerism: The Discovery of Animal Magnetism
Franz Anton Mesmer
(1734-1815)
1781

The physician Franz Anton Mesmer, whose name lives on today in the English words „to mesmerize“ and „mesmerism“, in 1774 began to treat his patients, who often belonged to the Viennese upper class, with magnetic cures. He based this on his theory of „animal magnetism“. The technique of „mesmerizing stiches“, touching the skin with magnets, spread far beyond Vienna.



Batterie-Pöppel als Hörschnecke
1807

Aus der Batterieanlage ist eine Trommel aus Papier, welche mit Pulver und einem kleinen Hammer versehen ist. Durch die Schwingungen des Pulvers wird die Trommel in Schwingung gesetzt.

Hörhilfe auf dem Kopf
1807

Unter diesem Namen wurde eine der ersten Hörhilfen bezeichnet. Sie bestand aus einem kleinen Hammer, welcher auf dem Kopf des Patienten aufgelegt wurde. Durch die Schwingungen des Pulvers wird die Trommel in Schwingung gesetzt.

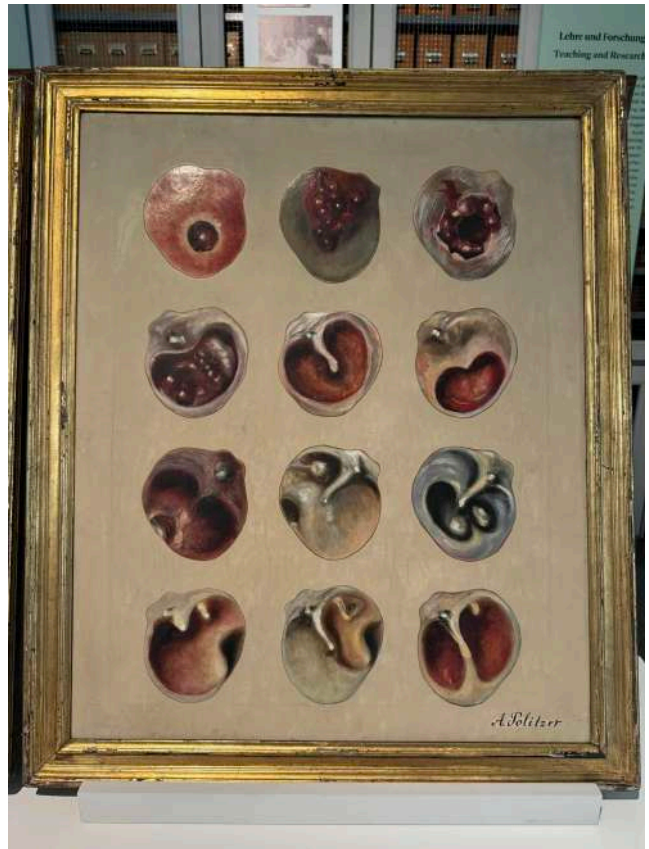


Hörhilfen Hearing Aids

„Hörte ich nicht, was der Herr sagte“, sagte Franz Anton Mesmer. Nach ihm waren die Menschen von einem „tierischen Magnetismus“ durchdrungen, der sie zu einer Einheit verband. Mesmer behauptete, dass er durch seine „mesmerischen Stiche“ die Kräfte der Natur zu nutzen vermöge. In der ersten Hälfte des 19. Jahrhunderts wurden viele Hörhilfen erfunden. Die ersten Hörgeräte kamen in Österreich erst in den 1890er Jahren auf. Diese verwendeten Akkumulator- oder Batterien als Energiequelle. Die ersten Hörgeräte waren in der Regel aus Metall und hatten eine sehr einfache Bauweise. Sie waren oft als „Hörhilfen“ oder „Hörgeräte“ bezeichnet. Die ersten Hörgeräte waren oft aus Metall und hatten eine sehr einfache Bauweise. Sie waren oft als „Hörhilfen“ oder „Hörgeräte“ bezeichnet.

„It is not being that imperfect people from things. Not hearing separates people from people“, said Franz Anton Mesmer. Hearing has often been used to be a communication and therefore has integration, which can lead to a sense of isolation and depression. This is why people were already concerned with the phenomenon of hearing and increasing hearing ability in ancient times. The first hearing aids were developed in the 19th century. The first modern hearing aids did not appear in Austria until the 1890s, when a few doctors had constructed devices and introduced them for hearing training.

Scientists in the USA, Australia and Austria have been researching the development of an cochlear implant (CI) since the 1960s. The first modern CI was implanted in Austria in 1977, developed by Ingelberg and Erwin Hochmann. In order to provide deaf and hearing-impaired people, the first modern hearing aids are designed and used to process sound information properly. The electrode arrangement of the implant in the cochlea transmits signals in the form of electric impulses through the cochlea to the auditory nerve in the brain, where they are perceived as hearing or sound.



この夏はめまい平衡医学のバラニー@Uppsalaには行けず。耳科学の父であるポリッツァー@Viennaを訪ねました。

ベートーベンの側頭骨の一部、使用されていた補聴器の展示もあり、非常に興味深いmuseumでした。

2024/09/09



昭和からの長いお付き合い、ということになりますね。久しぶりに大須賀先生とお会いできました。とあるおめでたい会場にて。

2024/09/10



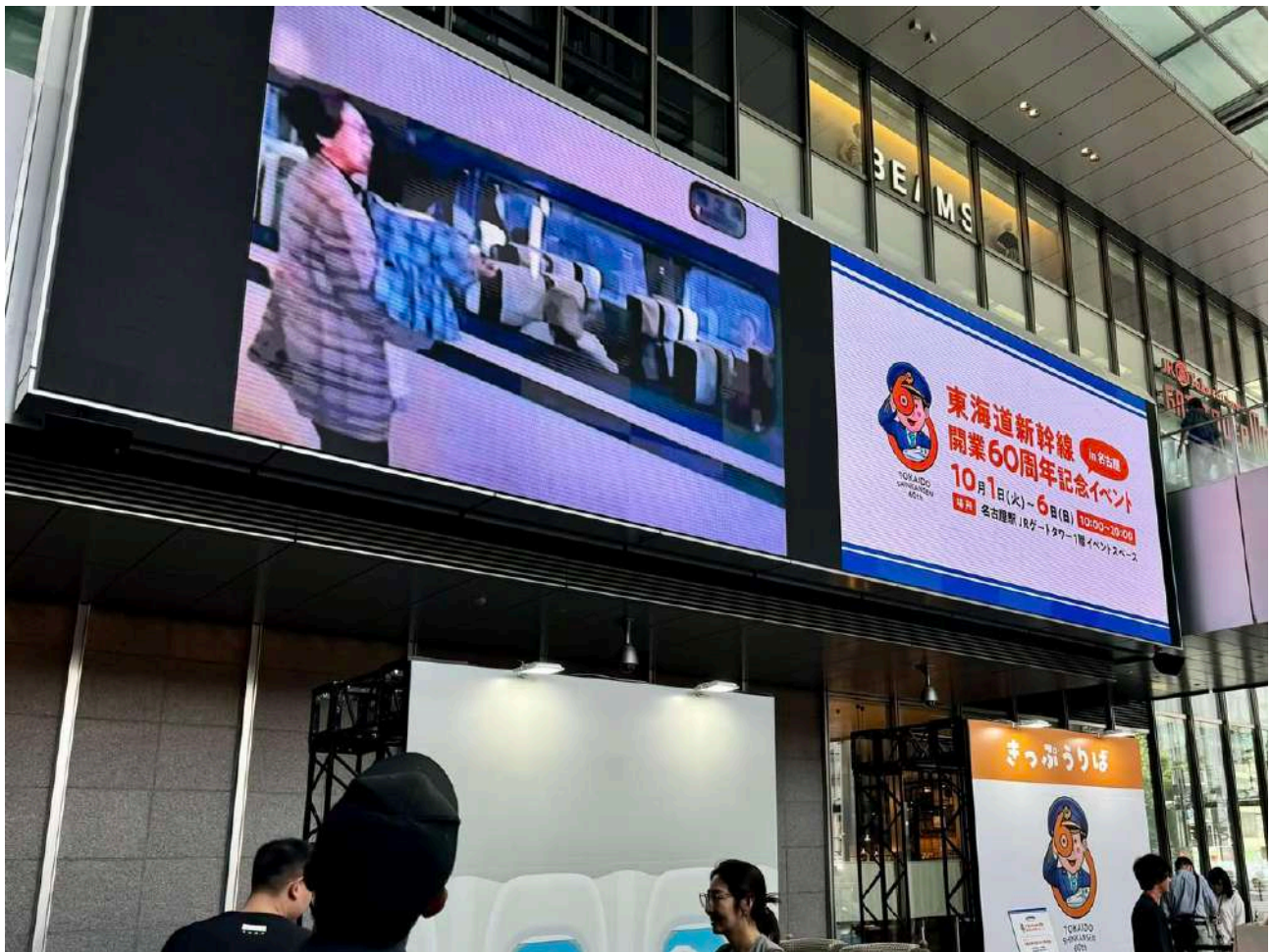
本日は親睦会@甲子園。久し振りに江口先生とお会いできました。サテテルは練習でトンネルしてましたが阪神激勝しました。

2024/09/22



昨晩は友人ご夫妻の特別な日をお祝いしました。
北区天満にて。

2024/10/02



久々の名古屋です。
新幹線60周年だそうで。学会場はこの奥でしょうか。

2024/10/06



麻酔科50周年。おめでとうございます。
本当に素晴らしい医局です。

2024/10/14



10年以上前からお世話になっている、素敵なフォトスタジオnicoさん@豊中。
ペット、人間、医大HP写真も撮影いただきました。
魚の鮮度が非常によく、地元民で混雑している一豊さん@豊中。お知り合いからご紹介いただき、楽しませていただきました。

2024/10/23



本日は耳鼻咽喉科臨床学会2025の成功の鍵を握る方々とミーティングしました。かき氷、柿の葉寿司、東大寺はマストです。是非ご来奈良される先生方を奈良風にオモテナシしたいと思います。
<https://gakkai.co.jp/porl87/>

2024/10/26



本日は阪急ハロードッグ西宮にて、SCHOOL FESTIVAL(Halloween Party)が開催されました。
まうは今年も元気に参加しました。ありがとうございました。

2024/10/26



白檀生祭の初日の様子。思いの外の盛り上がり。多くの親子連れの方々が医学展示体験にご来場くださり。鳥谷氏のトークショーの裏番組にも関わらず心臓外科・細野教授の講演も賑わってます。

2024/10/27



白檀生祭の2日目。今年から新たに企画された奈良医大mini講演午後の部。この3名で無事完遂しました。

お忙しい中お越しいただいた皆様、学祭委員会の皆様。ありがとうございました。

2024/11/01



檀原神宮のかわしまさん。
良かったです。ありがとうございました。

2024/11/03





信州も大雨でしたが無事法要を終えました。
いつもながらお蕎麦とソースかつ丼で帰阪。

2024/11/04



阪急ハロードッグソリオ宝塚店が今月末に閉店。また西宮阪急店に戻ることにになりそうです。宝塚店最後のトリミング。武庫川を散歩することも無くなりそうです。

2024/11/09



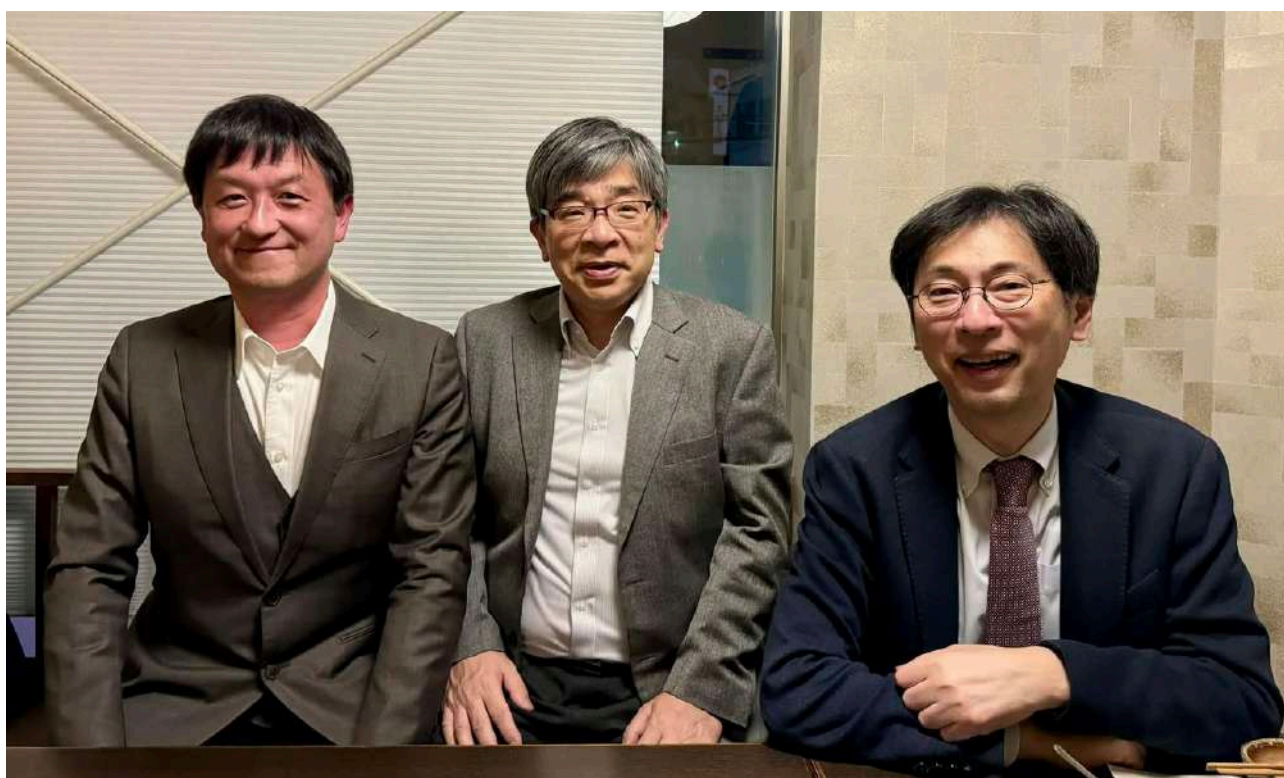
ANAを目指してからの目的地。
30分早く着きましたので。

2024/11/25



11月23日土祝、毎年恒例の参九会総会が帝国ホテル大阪で開催されました。
歴代の医局長を並べて、記念撮影していただきました。
太田先生お疲れ様でした。細川先生頑張ってください。

2024/11/30



昨晩は久しぶりの大須賀会@高槻市。大須賀先生は飲めないので萩森先生と私で囲んで飲む楽しい会です。耳鼻臨床2025では大須賀先生の熱いIVRの話が聞けそうです。そのまま京都で本日から日耳鼻秋季大会。

2024/12/06



12月は蟹と猪です。

2024/12/10



宝塚ハロードッグが閉店しましたので、最近のまうはトータルペットケアのKabsさんにお世話になっています。Kabsさんではシニア犬ながら結構凛々しく頑張っています。
幼馴染のジョイ君と再会しました。

2024/12/14



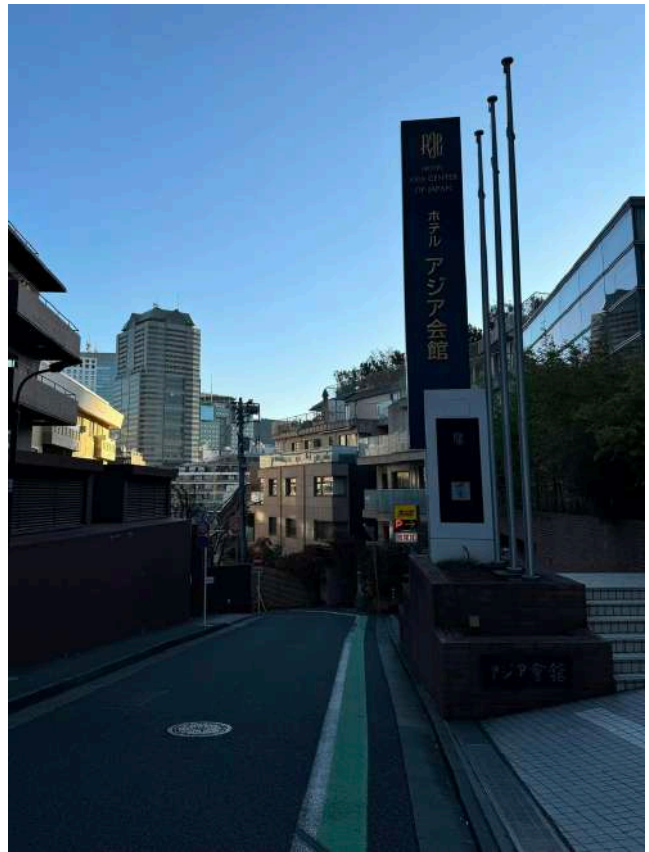
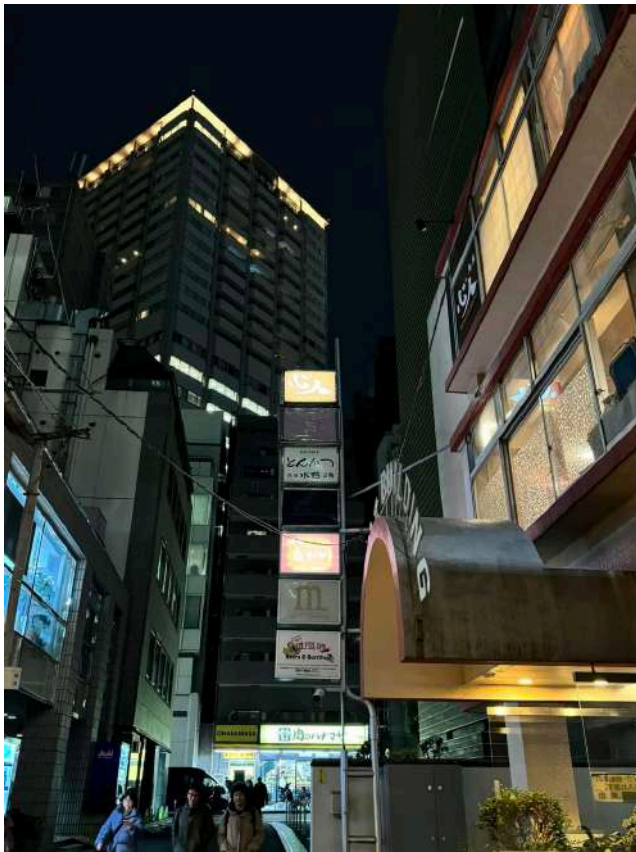
ミニ平四会@ミナミ

2024/12/15



本日はお友達ご夫妻とロータリーGC。今季最も寒い日という感じの景色。

2024/12/21



東京で来年の学会打ち合わせ。
アジア会館に泊まってセブンで朝コーヒー。そして山王病院を見学。渡邊雄介先生と大塚康司先生にお会いして来ました。

2024/12/22



まうは新しく通い始めたKabsさんの発表会でした。13歳の年なりに頑張りました。PUFFY懐かしい！甲子園浜とても寒い！

2024/12/28



本日はフォトスタジオnicoさんのお誘いで2024年、13歳の撮り納めとなりました。